



今回は、Yuinás の図書館機能についてご紹介します。

湯沢図書館は、明治36年6月に雄勝郡立図書館として開設され、大正12年郡制廃止により湯沢図書館と改称された歴史ある図書館です。

これまで市民とともに築いてきた地域の情報基盤としての役割を大切にしながら、施設機能をパワーアップします。

## 図書館の機能紹介

### パワーアップ

#### その1 施設のどこでも読書

本などの図書館の資料はICタグで管理することにより、図書館エリアに限らず、施設内のどこでも読書を楽しめます。カフェでコーヒーを飲みながら、待ち合わせ時間を利用してなど、思い思いの形で利用できます。

### パワーアップ

#### その2 生活に役立つ情報の提供

2階テラスの近くには雑誌・新聞コーナーがあります。和室が空いている時には畳の上でくつろぎながら読むこともできます。



調査研究を支援するインターネット・パソコン席ではウェブでの情報収集に加え、オンライン辞書・辞典サービスを活用した調べものもできます。

「湯沢コーナー」は、地域資料を中心に、湯沢にゆかりのある人物や関連施設、伝統文化などの情報を発信するスポットです。

### パワーアップ

#### その3 大切な一冊と出会う場所

現在の蔵書およそ12万冊が移転し、閉架書庫を含めて最大16万冊の収容が可能な施設になります。これらの資料を市民の興味関心の高いテーマで紹介することで“本と出会う”機会をつくり、市民の生涯学習を支援します。

### パワーアップ

#### その4 自動貸出機の導入

気軽に本を借りられる自動貸出機により、待ち時間の短縮やプライバシー保護が図れます。

### パワーアップ

#### その5 「しずかな部屋」で集中して読書・学習

「今日は集中して読書(学習)したい」そんな時は、会話、音が生じる機器の使用を控える「しずかな部屋」を使用できます。また、2階吹き抜けを囲む机には電源があり、ワーキングスペース的な利用もできます。



11月22日(日)  
オープン  
予定



#### 図書館準備スタッフより

本や情報を通じて皆さんと交流して、図書館とともにまちが成長できるように盛り上げていきます。



最新情報はこちらから

